

冬

九十九島では寒い冬は静かな季節です。冬の海は透明で、空気澄んでいるので、霧に遮られることなく広大に広がる島々を一望できます。208の島々は冬の荒波を沈める天然の防波堤の役割を果たしています。

- 展示写真の詳しい情報を見るにはQRコードを使ってください。無料WiFiが利用できます。

<写真>

ハマジンチョウ

日本では、この顕花植物 (*Myoporum bontioides*) は、九州西部と沖縄周辺の地域でしか見られません。その希少性から沖縄にあるハマジンチョウの群落は天然記念物に指定されています。種は海流で運ばれるので、海面で上下しているところを時々見かけます。

船越展望台

遊覧船で島の間を通ることで九十九島を体験することができますが、展望台から全体を俯瞰すれば、島々がいかに広範にわたって密集しているかがわかります。九十九島からそう遠くないところにあるこのバリアフリーの展望台は、そういった眺望が得られる景勝スポットの一つとされています。

冬の風景

九十九島は、夏の間中暑く日差しの強い暖温帯気候ですが、冬には全域で雪が降ります。温暖な海洋性気候のおかげであまり雪が積もることはありませんが、毎年数回降る雪はまったく趣の異なる景観を作り出します。

九十九島カキ祭り

九十九島周辺の海域では国内最大規模のカキ養殖が行われています。そのおいしい製品は九十九島カキとしてブランド化されており、毎年の冬、海から水揚げされたばかりの新鮮なカキを味わおうとする数千人の客がこのイベントに集まります。